

地域ネットワークニュース

～令和6年7月の勉強会のお知らせ & 令和6年6月の勉強会報告～

第288回 地域ネットワーク勉強会 高次脳機能障害支援センターと白十字総合病院の取り組み ～高次脳機能障害地域支援拠点病院の機能と連携～

講師：高松 麻美子氏(茨城県高次脳機能障害支援センター)
関 優治氏(社会福祉法人 白十字会 白十字総合病院)

日時：7月19日(金)

時間：午後7時～午後8時30分

場所：保健・福祉会館2階 研修室

定員：50名(要事前申込)

高次脳機能障害とは、病気や事故などにより脳が部分的に損傷を受け、言語・思考・記憶などの機能が低下している状態のことを指します。脳の損傷箇所によって症状は様々ですが、適切な診断や継続したリハビリ、環境調整や周囲の関わり方によって症状が改善し、自立した日常生活や社会生活を送れるようになることが多くの症例で示されています。茨城県では高次脳機能障害を抱える方の支援の充実を図り、地域支援ネットワークの構築を進めるため各地域ごとに『高次脳機能障害地域支援拠点病院』を設置しています。鹿行地域では令和6年4月から白十字総合病院が地域支援拠点病院に指定されました。



そこで今回は、高次脳機能障害支援センターの高松さんと白十字総合病院の関さんをお招きし、高次脳機能障害の主な症状や病状との向き合い方、各支援機関の機能や役割についてお話いただきます。障害福祉や介護保険サービス事業所のスタッフ、医療関係者、ご本人やその家族など、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

会場には情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所等のパンフレットやチラシ、研修会のご案内など、配布、展示いたします。当日のご持参でもかまいません。みなさまからの情報をお待ちしています。

申込・問合せ先 神栖市社協 地域福祉総合相談センター 電話 0299-93-0294

第287回 地域ネットワーク勉強会報告 令和6年6月19日開催 <参加者59名>

神栖市の『動物福祉』について考える ～市役所とわんにゃんレスキューOHANAの取り組み～

今泉 圭祐氏(神栖市役所 生活環境部 環境課)

松本 恵美氏(特定非営利活動法人わんにゃんレスキューOHANA)



今回の勉強会では、神栖市役所環境課の今泉さん、わんにゃんレスキューOHANAの松本さんをお招きし『神栖市の動物福祉』をテーマにお話いただきました。

環境課今泉さんからは、動物愛護法(動物の愛護及び管理に関する法律)などの法令関係や県や市で行っている動物に関しての補助金などの利用できる制度について説明いただきました。法令については、地方自治体の責務だけでなく、犬猫の飼育が難しくなった場合に飼い主が責任をもって譲渡先を探すように努力するなど飼い主としての責務が明記されています。」との話がありました。

わんにゃんレスキューOHANAからは、動画や画像を交えて活動の紹介を行っていただきました。代表の松本さんからは、参加された方々に対して、「高齢者や障害のある方と関わった際に、その世帯に動物についての課題が見つかった場合には、ぜひ、わんにゃんレスキューにご相談ください。支援のチーム員として解決策を一緒に考えていきたいと思っております。」と呼びかけがありました。